

“小さな群れよ、恐れるな。あなたの父はよろこんで神の国をくださる” (ルカ12-23)

カトリック美唄教会 ・ カトリック砂川教会 教会だより

小さな群れ

2024年 9月
2024年8月25日発行
主任司祭 ナルチゾ・カヴァッツォラ

ホームページ <https://caterina.sakura.ne.jp>

9月は、聖マリアの誕生、十字架称賛などの祝日があります。

1日は、「被造物を大切にす世界祈願日」です。今年のテーマは、「被造物とともにあって、希望し行動しよう」です。

地球全体の存続が危ぶまれる深刻な状況を迎え、地球は嘆き、叫びながらわたしたちに呼びかけています。この日わたしたち人類が被造物の支配者なのではなく、ともに歩いていく決断をしながら1日を祈る日といたしましょう



今年のテーマは「老いの日にもわたしを捨て去らないでください」

(詩編71・9参照))です。

今年のテーマは、「神はその民とともに歩まれる」です。これらの教会の中での特別な祈りの日々に、心をあわせて祈っていきましょう。今、世界中で起こっている様々な出来事に関心を持ちながら、世界平和のため、人々のいのちを大切にすることを切に祈って参りましょう。

9月8日は聖母の誕生日です。



現在のトルコのエフェソ(街というよりは古代文化遺跡)に聖母マリアの家が残っており、観光地になっているようです。実際は聖母マリアの生家というよりは、イエス・キリストの死後、弟子と共にエフェソに移られたと言われているマリア様たちが住んだ家です。後世に建物の遺構が見つかり、その上に小さな聖堂が建てられ

ました。数年前にはローマ教皇が訪れ一躍有名になりました。マリア様の父親はヨアキム、母はアンナといわれています。誰もが、生まれた時はその子がどのような人生を送るかわかりません。マリア様の両親も、まさか救い主の母になるとは思ってもみなかったでしょう。

教会は「彼女の希望に託し、喜びのうちに観想する」ということがあげられます。教会は、目に見える現実を超えて働きかけられる神のみ摂理に自らを委ねたマリアの希望に学ぶ共同体です。教会は、自分のすべてを神の恵みに委ねたマリアのように、神への信頼のうちに真の喜びを味わうのです。

砂川教会 お知らせ

砂川市東5条南3丁目3-1 TEL 0125-52-4617 FAX 0125-52-4618

9月の主な典礼・ミサ時刻

日	曜	典礼暦	担当
1	日	年間第22主日 被造物を大切に作る世界祈願日 当教会出身聖職者、修道者のために祈る日	9:00 ミサ 先読み： 多田 第1：西川 第2：野呂 答唱詩篇 間野・木下 オルガン：能村
8	日	年間第23主日 司祭と召出しを求めのために祈る日	9:00 ミサ 先読み： 高塚 第1：木下 第2：本田 答唱詩篇： 三上夫妻 オルガン：能村
15	日	年間第24主日 病者と洗礼志願者のために祈る日	9:00 ミサ 先読み： 多田 第1：間野 第2：三上朋 答唱詩篇 多田・野呂 オルガン：能村
22	日	年間第25主日 世界難民移住移動者の日 教会から離れた信所のために祈る日	9:00 ミサ 先読み： 高塚 第1：安藤 第2：久保 答唱詩篇： 三上夫妻 オルガン：能村
29	日	年間第26主日 砂川教会献堂75周年 叙階ダイヤモンド祝記念ミサ ナルチゾ神父様 マンフレード神父様 ルカ神父様	10:00 ミサ
◆平日のミサ 月曜日～金曜日 6:00 土曜日 10:00			

◆今月の霊名記念日の方 … おめでとうございます（敬称略）

4日	ヴィテルボの聖ローザおとめ	多田玲子、三上朋子
29日	聖ミカエル大天使	間野正孝神父

◆お知らせ

・毎週水曜日 10:00～ 聖書に親しむ会を実施しています。

◆幼稚園関連

14日	運動会
21日	開園記念日

砂川 花当番	
7日(土)	高塚
14日(土)	安藤
21日(土)	多比良





美唄教会 2024 年 9 月 主日ミサ・平日のミサ予定

美唄市東 2 条南 3 丁目 2-10 TEL&FAX 0126-63-2434

美唄教会 小さな群れ

通巻No.328

2024 年 9 月

2024 年 8 月 25 日発行

・主日ミサ 朝の祈り 「 平和を求める祈り 」 日本カトリック平和旬間にあわせて

日	曜	ミサ		各種勉強会	会議・その他事項
		主日・祭日	時間		
1	日	年間第 22 主日	午前 11 : 00		被造物を大切に する世界祈願日
6	金		午前 10 : 30	聖書に親しむ(ミサ後)	
8	日	年間第 23 主日	午前 11 : 00		祖父母と高齢者の ための祈願日(本来、9/15) ミサ後 運営委員会
13	金		午前 10 : 30	聖書に親しむ(ミサ後)	
15	日	年間第 24 主日	美唄での ミサはなし		旭川地区 カトリック大会 (旭川藤星高校)
18	水				【ロザリオの祈り】 午後 5 時 30 分より (聖堂にて)
20	金		午前 10 : 30	聖書に親しむ(ミサ後)	
22	日	年間第 25 主日	午前 11 : 00		
27	金			聖書に親しむ(ミサ後)	
29	日	年間第 26 主日	美唄での ミサはなし		砂川教会献堂 75 周 年記念ミサ・祝賀会

《 平日のミサ 》 金曜日のみ 午前 10 : 30 6・13・20・27 日です
《 聖書に親しむ 》 平日のミサ後、旧約聖書に親しんでみませんか。

霊名の祝日 (敬省略)		清掃当番
14 日 ノトブルカ	小川 ますみ	【第 2 週】大城
		【第 4 週】中村
		花当番
		東

【お知らせ】

- ◎ 9 月 8 日 翌週 9 月 15 日のミサは旭川地区カトリック大会のみですので、この日に「祖父母と高齢者のための祈願日」のお祈りをします。
- ◎ 9 月 15 日 旭川地区カトリック大会が旭川藤星高校(旧：旭川藤女子高校)で開催されます。
- ◎ 9 月 29 日 砂川教会献堂 75 周年記念ミサ・祝賀会があります。自家用車の無い方は幼稚園のワゴン車を利用できます。

聖書の翻訳

ナルチゾ神父の講話より

外国語を勉強している人は、外国語から日本語に翻訳する時に、原語の本当の意味を伝えることが、非常に難しいことにお気づきだと思います。

キリスト教の教会は、長い間聖書をラテン語でしか読みませんでした。各国語に翻訳すると、神の言葉がそのまま伝わらないことを恐れたからです。聖書がはじめて翻訳されたのは、十六世紀中頃ルテロ神父によるラテン語からドイツ語への翻訳です。その時から、プロテスタントの人達は聖書を様々な国語に翻訳しました。それは一般の人にも聖書を理解しやすくするためでした。ラテン語は、当時は教養のある人しか読めなかったのです。



カトリックでは、1950年代に聖書をはじめ、お祈りの言葉などを翻訳することを許可しました。それまでは教会の典礼もラテン語で行われていました。しかし、やはり翻訳では、原語の意味がそのまま伝わらないように思います。たとえば、ルカ福音書一章三十九節「その頃、マリアは出かけて、急いで山里に向かい、ユダの町に行った。そして、ザカリアの家に入ってエリザベトに挨拶した」

日本語で挨拶とは、「人と会った時にとり交す儀礼的な動作、言葉」であると、国語辞典に書いてあり、それ以上の意味は含まれていないように思います。しかし聖書の言葉を読みつづけると、「マリアの挨拶をエリザベトが聞いたとき、その胎内の子がおどった」。

つまり、「とり交す儀礼的な言葉」よりも、もっと深い意味が含まれていることがわかるでしょう。神からの挨拶ですから、エリザベトの胎児までにも伝わったのです。そのように、「挨拶」という言葉は、聖書の中では最も意味深いものです。他の個所でも、挨拶という言葉が文脈から浮き上がって、何ともおさまりの悪い文章になっています。

天使ガブリエルがマリアさまに、母になると挨拶する時に、「天使は、彼女のところに来て言った。「おめでとう、恵まれた方。主があなたと共におられる。」マリアはこの言葉に戸惑い、いったいこの挨拶は何のことかと考え込んだ。」

この挨拶が「人と会った時にとり交す儀礼的な動作、言葉」以上のものを示すことは、マリアさまの言葉からわかります。挨拶に戸惑ったからです。聖書の世界の挨拶は、日常生活を円滑にする儀礼に留まらず、それ以上の意味を持っています。

イエスさまは、弟子を世界中に送り出す時に、「”どこの家に入っても、まずこの家に平和があるようにと言いなさい。平和の子がそこにいるならば、あなた方の平和はその人にとどまる。”確かに「平和」、ヘブライ語で「シャローム」は、日常的な挨拶でもあります。しかしこの文脈からもわかるように、弟子達が戸口で述べる「シャローム」は、神の祝福を人々にもたらす力を備えています。”神の平和があなたと共に在るように”という挨拶は、人間に安心感、穏やかさ、満足感を与え、人を生かす挨拶です。

今もユダヤ人をはじめ、アラブなど中東の人達は、「シャローム」という言葉で、相手に神しか与えられない幸福を願いながら挨拶します。聖書の中から、「挨拶」という言葉だけを取り上げましたが、その他にもたくさんの言葉が翻訳によって意味が伝わりにくくなっています。でも、イエスさまは、自分の弟子に、「神の霊は私の言いたいことを、あなた方に悟らせるだろう」と約束してくれました。



聖書は神の言葉ですから、他の本と同じような気持ちで読むことはできません。神は読む人の心に、直接話しかけてくれますから、祈りながら聖書を読むべきでしょう。そうすれば、辞典を使わなくても、きっと神の言葉は私達の心を満たしてくれるに違いありません。